

りました。今までのことを思い出します。西高の最初の印象は、親の立場で安心して通わすことができる学校だと思いました。生徒はみんな学校に目が向いていて、勉強と部活動が生活の大部分を占め、変な誘惑がほとんどありません。学校は平和で、傘を置いておいても、盗まれることはめったにありません。楽しみは、西高祭に代表されるように学校行事や部活で見つけていました。他校では、生徒の自主性が失われ、自分たちでなくなりを作り出し伝えていく力がなくなつていくとともに、学校行事が縮小され、部活動が停滞していく小さな、昔と同じように生徒主体で行われる西高の行事や部活にはほとんどいたことを覚えています。

一部活動が盛んで、特に人数の多い部活動はもちろんですが、少人数でもこつこつ続けていく姿に西高生の強さと素晴らしさを感じます。私が最初に顧問になつたのは、筝曲とバレーボールでした。西高で筝曲に出会うままで、生の琴の音すら聞いたことがありませんでしたが、縁があつて8年間、少しずつでしたが琴に触れることができ、演奏する機会を持たせていただき、本当によかつたと思いま

最初は生徒の楽しそうな生き生きした姿に目を奪われていました。が、そんな日常は、勉強との両立でとても忙しいということを知るにつれさらに驚きました。7限授業の上に、山ほどの課題、さらに定期テスト以外の小テストや補充追試。生徒も大変ですが、先生も大変な学校だと思います。その先生の大変さを支えているのは、みんなが先生の期待に応えてくれるからだと思います。

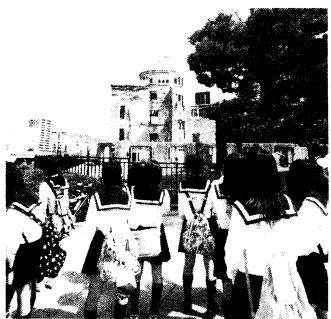
自分の学生時代と比べ、よくこんな忙しい毎日を続けていけると感心しましたが、その中で、ちょっとした心遣いや楽しむことを忘れない姿にもっと驚き感心しました。

球技大会では毎回手作りゼッケン。ゼッケンを毎回作るだけでも大変なのに、さらにひと工夫してあり永久保存版にしたいものもたくさんあります。私も、今まで作つてもらつたゼッケンをすべてしまってあります。応援も盛んで、優勝戦かと思ったら、敗者戦といふことも多くありました。

西高祭はもちろん全力投球で、いろいろな仕事があるにもかかわらず、人材豊富でそれぞれが勉強以外の自分の得意分野を發揮する機会も多く、私も楽しませてもらいました。こんなイベントを経験できるみんなは、自分の学生時代と比べても、とても恵まれていると思います。

最後の終業式の日には、副担の私まで招待してくれて、歌のプレゼントをしてくれました。そんな西高生と今、お別れしなくてはいけないのは大変残念です。

最近私は、「縁」ということを良く考えます。縁があつて私は西高に赴任し、良い経験をいっぱいさせていただきました。縁があつ



原爆ドーム前

西高&INTERNET

1 西高OBのホームページ

9回生の鷲津秀樹さん主宰。西高の学校行事、部活動などの話題や、OB同士が情報交換できる掲示板など盛りだくさんで楽しい内容です。ぜひ、ご覧ください。<http://www.ops.dti.ne.jp/~iwh/>

2 西高メーリングリスト

28回生の牧さん主宰。西高の話題を中心に、さまざまな情報を交換しています。申し込みは、牧さんまで。

E-mail nishi-koh-owner@yahoogroups.jp

3 同窓会事務局へのお便り・出欠のご返事も E-mailでどうぞ。

E-mail dosokqi@ichinomiyanishi-h.gichi-c.ed.jp

西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-higuchi-cedip.jp/>

来年の修学旅行も、今年とほぼ同じコースで実施の予定です。



秋吉台

加入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間一千円）の納入をお願いしましたところ、二百五十一名の方から会費をいたただくことが出来ました。同時にお願ひしました協力金とあわせて、六十五万千二百八十四をいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。

今年度も、年会費一千円とは別に、一口千円を協力金としてお願ひしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願いいいたします。